



TOUR DE HOKKAIDO

ツール・ド・北海道2014大会の概要

1 ツール・ド・北海道

1987年10月に日本最初のステージレースとしてツール・ド・北海道大会が開催されてから今回で28回目を迎えました。第11回大会からは、国際自転車競技連合（UCI）の公認大会として承認され、国際大会としても18回目を迎え、いまや国内有数のステージレースになっております。

ツール・ド・北海道には、海外からも多数のチームが参加を希望するなど、定評ある大会となっており、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版です。

競技は1チーム5人のチーム成績と個人成績の両方を争うステージレースであり、海外、国内の各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームのエースに個人総合時間賞を獲得させようと、様々な作戦でレースを展開します。

また、年々参加者が増えている市民レースも同時開催し、幼児から大人まで幅広く参加を募り、地域の活性化を図るとともにこの大会を盛り上げています。



2013大会 共和町老古美付近

2 大会概要と日程

本年の「ツール・ド・北海道2014」は、道央・道東地域を中心に9月13日（土）から15日（月・祝）までの3日間開催します。

大会期間中、3ステージを設けて各競技を行います。今年も3ステージ全てでロードレースを行います。

初日の9月13日（土）は、千歳市（市役所駐車場特設会場）において開会式を行い、終了後、第1ステージが同所前からスタートします。コースは、千歳市から安平町、厚真町、むかわ町、平取町、日高町、占冠村、南富良野町を経て新得町（保健福祉センター前）でフィニッシュする194kmのロードレースです。

翌日、9月14日（日）の第2ステージは、幕別町（依田公園）からスタートし、帯広市、更別村、大樹町、幕別町、豊頃町を経てスタート地点の幕別町（依田公園）に戻る183kmのロードレースです。

そして最終日、9月15日（月・祝）の第3ステージは、帯広市（帯広競馬場駐車場）からスタートして音更町、士幌町、本別町、足寄町、上士幌町、士幌町を経て音更町（希望が丘運動公園前）でフィニッシュする166kmのロードレースを行い、全ての日程を終えます。総走行距離は543kmになる見込みです。

各ステージ終了後に、それぞれのフィニッシュ地点において表彰式を行います。最終表彰式は、音更町（希望が丘運動公園特設会場）において行います。

本大会の詳細日程は、次のとおりです。

《ステージレース》

■ 開催期間

9月13日（土）から15日（月・祝）までの3日間

■ 開会式

9月13日（土）9時00分～9時30分

千歳市「市役所駐車場特設会場」

■ 各ステージの行程

- 第1ステージ（ロードレース） 9月13日（土）（194km）
千歳市（S：市役所駐車場）～安平町～厚真町～むかわ町～平取町～日高町～
占冠村～南富良野町～新得町（F：保健福祉センター前）
- 第2ステージ（ロードレース） 9月14日（日）（183km）
幕別町（S：依田公園）～帯広市～更別村～大樹町～幕別町～豊頃町～幕別町
（F：依田公園）
- 第3ステージ（ロードレース） 9月15日（月・祝）（166km）
帯広市（S：帯広競馬場駐車場）～音更町～士幌町～本別町～足寄町～上士幌
町～士幌町～音更町（F：希望が丘運動公園前）

■ 出場予定チーム

今のところ、海外、国内登録（学生チームを含む。）合計20チーム、100名の選手が出場を予定しています。

■ 表彰式

各ステージのフィニッシュ地点特設会場においてそれぞれ行います。

■ 最終表彰式

9月15日（月・祝）15時00分～15時30分

音更町「希望が丘運動公園特設会場」

《市民ステージレース》

■ 開催期間

9月13日（土）から15日（月・祝）までの3日間

■ 開会式

9月13日（土）11時30分～11時50分

帯広市「十勝川河川敷地特設会場」

■ 各ステージの行程

- 市民第1ステージ（タイムトライアル） 9月13日（土）
帯広市「十勝川河川敷地特設コース」（1.8Km）
- 市民第2ステージ（ロードレース） 9月14日（日）
【上級コース】（137km）
幕別町（S：依田公園）～帯広市～更別村～幕別町～豊頃町～
幕別町（F：依田公園）
【中・初級コース】（90km）
幕別町（S：依田公園）～帯広市～更別村～幕別町～豊頃町～
幕別町（F：依田公園）

- 市民第3ステージ（クリテリウム） 9月15日（月・祝）
札幌市「モエレ沼公園特設コース」 クリテリウム（2.2km～33km）

■ 参加募集期間

6月2日（月）から7月15日（火）まで

※ 募集要項は、「ツール・ド・北海道協会ホームページ」に掲載します。

3 本大会における各ステージのコース概要

○ 第1ステージ

第1ステージは、千歳市役所駐車場からスタートしてJR千歳線高架下をくぐり抜け、競走馬を育てる牧場地帯を抜ける道道早来千歳線から千歳鷗川線を走行して、安平町を経由し厚真町に入ります。厚真町市街で中間プリントを競った後、道道平取厚真線、穂別鷗川線などの山間部を駆け抜け国道237号（通称：日高国道）を左折、北上して日高峠（標高495m）頂上付近で最初の山岳ポイントを競います。そして、占冠村から道道夕張新得線に入り、トマムリゾート地帯の比較的平坦な道路をしばらく走って南富良野町落合地区から国道38号（通称：狩勝国道）を右折、なだらかな狩勝国道を登って狩勝峠（標高644m）頂上付近で本ステージ二度目の山岳ポイントを競います。狩勝峠を越えると雄大な十勝平野を見下ろしながら国道38号を一気に下り、本大会の最長コース（194km）を新得町保健福祉センター前でフィニッシュします。

○ 第2ステージ

第2ステージは、幕別町（依田公園）からスタートして、町道から道道更別幕別線に入り、右手に帯広空港、遠くに日高山脈を望みながら、のどかな田園風景が広がる更別村に入ります。更別村市街で中間プリントを競った後、道道更南更別停車場線から清水大樹線、幸徳大樹停車場線など山間部を走り歴舟川に架かる神威大橋からの絶景を眺めて大樹町に入ります。国道236号を右折して石坂地区からグリーン道路を走り抜け国道336号（通称：ナウマン国道）を左折します。晩成温泉に至る町道に入ってしばらく走ると、目前に雄大な太平洋のパノラマが広がります。海に面した生花苗沼（おいまないぬま、アイヌ語読み：オカマイトウ）に沿った林道を半周して再びナウマン国道を右折し、豊頃町長節から町道、道道旅来豊頃停車場線を経て豊頃町に入ります。更に道道尾田豊頃停車場線、湧洞豊頃停車場線などを駆け抜け幕別町糠内地区から町道に入り、再びスタート地点に戻る形で幕別町（依田公園前）でフィニッシュする183kmのコースです。



○ 第3ステージ

第3ステージは、世界で唯一ばんえい競馬を年間開催している帯広市の帯広競馬場からスタートして道道帯広新得線に入り、すずらん大橋を渡って音更町鈴蘭公園横を通過し、十勝の田園が広がる道道上士幌音更線、本別士幌線を走行して士幌町下居辺で第3ステージ最初の山岳ポイントを競います。さらに勇足本別停車場線をひたすら走って本別町に入り、道道本別留辺薬線からミルクロードを駆け抜け足寄町の植坂山（標高475m）頂上付近で本ステージ二度目の山岳ポイントを競った後、

ヘアピンカーブが続く道道清水谷足寄線を経て国道241号（通称：足寄国道）を右折し上士幌町に入ります。上士幌町郊外から道道上士幌音更線を走り上士幌町内で中間プリントを競った後、フラットな直線コースが続く道道上士幌音更線に入り、東大雪の山並みを右手に全力疾走して音更町役場前を通過、雄飛が丘通に入って希望が丘運動公園前で最終ステージ（166 km）のフィニッシュとなります。

○ 市民ステージレース

市民第1ステージは、帯広市の十勝川河川敷地特設コースにおいて、往復1.8 kmの個人タイムトライアルを行います。帯広川の銀輪橋から帯里橋間を往復するフラットなコースで景観は抜群ですが、堤防の上を走行するため風の影響を受けやすいので、選手にとっては過酷な競技となることも予想されます。

市民第2ステージは、ツール・ド・北海道2014ステージレースのコースを一部短縮したコースを使用するため、本格的なロードレースの醍醐味を体感することができます。

市民第3ステージは、昨年と同様、札幌市のモエレ沼公園特設コースにおいて、クリテリウムを行います。市民が幅広く参加できるよう、クラス別に2.2 kmのコースを1周から15周する周回コースのほか、幼児を対象とした150 mの特別レースも設定しています。

4 コース図

各ステージのコース図は、当協会ホームページの「コース情報」にアップしています。

問い合わせ先

札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル5F
公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL 011-222-5922

FAX 011-232-4604



この大会は、競輪の補助を
受けて開催します。

